

広島交響楽団 被爆80周年特別公演

Hiroshima Symphony Orchestra
Special Concert for the 80th anniversary of the atomic bombing



被爆80周年

Piece of Peace
平和のかけら

ブリテン

戦争レクイエム

Britten: War Requiem Op.66

作品
66



Gavin Carr



Hiromi Omura



James Gilchrist



©Theo Williams

Roderick Williams

ボーンマス・シンフォニー・ コーラスを迎えて

指揮 **ギャビン・カー**
Conductor Gavin Carr

ソプラノ **大村博美**
Soprano Hiromi Omura

テノール **ジェイムス・ギルクリスト**
Tenor James Gilchrist

バリトン **ロ德里ック・ウィリアムズ**
Bariton Roderick Williams

合唱 **ボーンマス・シンフォニー・コーラス**
Chorus Bournemouth Symphony Chorus

NHK広島児童合唱団
NHK Hiroshima Children Chorus



Bournemouth Symphony Chorus

2025.9.6(土) 15:00開演
[14:00開場]

Saturday September 6, 2025 Start 15:00 [Open 14:00]

広島国際会議場フェニックスホール
Phoenix Hall Hiroshima

チケット料金 (税込・全席指定) / S席:5,000円・A席:3,000円 ※小・中・高校生はS・Aとも半額

チケット発売日/2025年7月7日(月) プレイガイド/広響webチケット、広響事務局

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。
※本公演は途中休憩がございません。※開演時間に遅れた場合、入場に制限がございます。

お問い合わせ **広響事務局** TEL:082-532-3080 <http://hirokyo.or.jp>

主催/公益社団法人広島交響楽協会

助成/公益財団法人 **合人社財団**

プレミアム協賛/ 中国電力



被爆80周年

Piece of Peace

平和のかけら

被爆80周年を記念し、

イギリスの名門、ボーンマス・シンフォニー・コーラスと

音楽監督であるギャビン・カー氏を迎え、

ブリテン作曲「戦争レクイエム」を広島で特別公演いたします。

この作品は第二次世界大戦で亡くなったすべての人々を悼み、

和解と平和への強い願いを込めて作曲されました。

今回はイギリスと日本の友好を象徴する3名のソリストを迎え、

大編成・小編成のオーケストラ、混声合唱、

そして児童合唱が一堂に会する壮大な編成でお届けします。

ぜひ会場でこの歴史的な名作に触れてください。

ギャビン・カー（指揮）

ギャビン・カーは著名な合唱指揮者の一人として、英国およびヨーロッパ各地で一流のオーケストラや合唱団を指揮している。フィルハーモニー・コーラス、ボーンマス・シンフォニー・コーラス、2つのオーケストラ合唱団で合唱指揮者を務め、多くの著名ソリストや演奏団体とも共演。BBCシンフォニー・コーラス、ロンドン・シンフォニー・コーラスを客演指揮したほか、彼が率いるエリートプロ合唱団「コーラス・アンジェロム」の創設者兼指揮者として、英国の作曲家ポール・カーの合唱作品を録音した。2024年にはダーティントン・ホールでの新たな合唱フェスティバルの合唱指揮者に任命され、合唱レパートリー開拓のためのカル・コンソートを設立。「広島戦争レクイエム」プロジェクトは長年構想され、2025年に実現したことで合唱界に大きな影響を与えた。バリトン歌手として国際的なキャリアを積んだ後、指揮者としての実績を20年以上も重ね、イギリス室内管弦楽団、ボーンマス交響楽団、ブレイメン・フィルハーモニー管弦楽団をはじめ、交響曲から声楽作品オペラ、委嘱新曲の指揮をはじめ幅広いレパートリーを誇る。現在、ロンドン王立音楽院声楽科で若い世代の育成を行うほか、英国の主要オーケストラ専属合唱団の合唱指揮者として活躍し、この分野におけるヨーロッパを代表する専門家の一人として認められている。



大村博美（ソプラノ）

東京都出身。東京藝術大学・同大学院修了。イタリアとフランスで研鑽を積み、イタリア・マントヴァ市国際オペラコンクール最高位、マルセイユ国際オペラコンクール優勝等、数々の国際コンクールで活躍。新国立劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、イスラエル・オペラ、モントリオール・オペラ、ローザンヌ・オペラ、ポーランド国立オペラ、シドニー・オペラハウス、メルボルン州立劇場、リオデジャネイロ市立劇場、ニューオリンズ・オペラ、ユタ・オペラ、ピッツバーグ・オペラ、ブッチーニ音楽祭ほか、世界各地のオペラハウスで「蝶々夫人」を演じ高い評価を得ている。また国内外で「ドン・カルロ」「トゥーランドット」「シモン・ボッカネグラ」「カルメン」「ナクソス島のアリアドネ」「フィガロの結婚」「ワルキューレ」「トスカ」「ノルマ」「オテロ」「椿姫」などのオペラをはじめ、コンサート・ソリストとしても、ブラームス：ドイツレクイエム（尾高忠明指揮・ロンドン響）、ベートーヴェン：ミサ・ソレニムス（東京シティ・フィル）、第九（東京響、東京フィル）、モーツァルト：ミサ曲、メンデルスゾーン：真夏の夜の夢（クルト・マズア指揮フランス国立管）などをはじめ、観客や評論家からの高い評価を得ると共に、スケール感ある優れた音楽性と優美な演唱で国際舞台での活躍が目覚ましい。

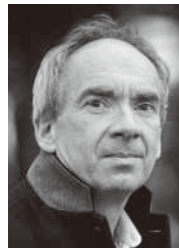


友好と平和を祈って

広島交響楽団 被爆80周年特別公演

ジェイムス・ギルクリスト（テノール）

ジェイムス・ギルクリストは医師として働きはじめ、後に声楽家として本格的な活動を行う。幅広いレパートリーを持ち、世界の主要なコンサートホールで、ジョン・エリオット・ガーディナー、ロジャー・ノリントン、鈴木雅明、リチャード・ヒコックスといった著名な指揮者たちとも共演。イギリス音楽の第一人者でもあるギルクリストは、サンクトペテルブルクとロンドンでブリテン：教会の寓話、同：ノクターン（NHK響）、同：戦争レクイエム（サンフランシスコ響、ドイツ国立ユース管）を共演。エディンバラ音楽祭、ロンドン・ロイヤル・フェスティバル・ホール、グリーグハレン等では、ブリテン：「ピーター・グライムズ」（ベルゲン・フィル）アダムズ牧師役を務めた。またその他の作品でも、パリ・オペラ座、マドリッド・レアル劇場、ローマ・オペラ座にも出演している。リサイタルでは25年以上に渡りピアニスト：アンナ・ティルブルックと幅広い活動を行い、ベートーヴェン、シューベルト、シューマンの歌曲集、ヴォーン・ウィリアムズ、ブリテン等の歌曲など、多数のレコーディングも行っている。2025シーズンは、「広島戦争レクイエム」プロジェクトをはじめ、クリスマス・オラトリオ、マタイ受難曲（エンシェント室内管、ベルゲン・フィルほか）、ロイヤル・バレエ&オペラ等への出演を予定している。



ロデリック・ウィリアムズ（バリトン）

ロデリック・ウィリアムズは、バロックから現代音楽まで幅広いレパートリーを持つ、最も注目されるバリトン歌手の一人である。英国およびヨーロッパの主要オペラハウスでも高い評価を得ており、欧州、北米、オーストラリアで著名指揮者やオーケストラと定期的に共演を重ね、BBCプロムス、エディンバラ、チェルトナム、オールドバラ、メルボルンなどの音楽祭にも出演している。リサイタルでも世界的な人気を誇り、ウィグモア・ホール、コンセルトヘボウ、ムジークフェライン等のホールをはじめ、リーズ・リーダー、オックスフォード国際、オールドバラ、ラドロー、などの英国での各音楽祭にも度々出演している。2017年6月には大英帝国勲章（OBE）を授与され、2020年～2022年ロイヤル・リバプール・フィルハーモニー管弦楽団のレジデント・アーティスト、2023年オールドバラ音楽祭でレジデント・アーティスト、英国ミュージック・イン・ザ・ラウンドでレジデント歌手を務めた。また2023年に行われたイギリス国王チャールズ3世の戴冠式ではソリストを務めた。作曲家としても活躍し彼の作品はウィグモア・ホール、バービカン、バーセル・ルーム、国営ラジオでも初演されている。2016年には英国作曲家賞で最優秀合唱作曲賞を受賞し、現在はBBCシンガーズのアソシエーション作曲家を務めている。



ボーンマス・シンフォニー・コーラス（合唱）

100年以上の歴史を持つボーンマス・シンフォニー・コーラスは、1911年、ダン・ゴッドフリー卿により彼のオーケストラのための合唱団として、ボーンマス市合唱団として設立。1979年にはボーンマス交響楽団の専属合唱団として、ボーンマス・シンフォニー・コーラスとなる。主な活動はボーンマス交響楽団との共演であるが、そのほか独自の演奏活動も合唱団の自主運営で多く行っている。これまで合唱新曲委嘱を行ったのは、教会音楽や賛美歌、管弦楽を伴う本格的な合唱作品まで数百曲。若い世代の合唱育成にも力を注ぎ、8歳から18歳までを対象としたボーンマス・シンフォニー・ユース合唱団と児童合唱団の活動も行っている。膨大なレコーディング実績を誇り、アンドリュース・リットン指揮、ウォルトン：「ベルシャザールの饗宴」では米国グラミー賞、そのほかの録音でも著名音楽誌等で数々の賞を受賞。また各地のオーケストラと、ブリテン：戦争レクイエム、マーラー：交響曲第8番、バッハ：受難曲などの共演を行ってきた。これまでベルン、フロリダ、イタリア、イスラエル、гент、パリ、ブラハ、ブルノ、ウィーン、シカゴ、ブレイメン、ムンバイ等の海外ツアーを実施。2025年の「戦争レクイエム」プロジェクトでは7月英国でマグナ・シンフォニアと共演し、9月には広島での公演を行う。

